

1)新規採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
パレプラス輸液 500mL アミノ酸・水溶性ビタミン加総合電解質液 薬価:554/500mL 陽進堂	<効能効果>下記状態時のアミノ酸、電解質、水溶性ビタミン及び水分の補給 ●経口摂取不十分で、軽度の低蛋白血症又は軽度の低栄養状態にある場合 ●手術前後 <用法用量>用時に隔壁を開通して大室液と小室液をよく混合する。通常、成人には1回 500mLを末梢静脈内に点滴静注する。投与速度は通常、500mL 当たり 120 分を目安とし、高齢者、重篤な患者には更に緩徐に注入する。なお、年齢、症状、体重により適宜増減するが、最大投与量は1日 2500mL までとする。	
プレバナー20 水性懸濁注 沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン 薬価未収載 ファイザー	<効能効果>●高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる者:肺炎球菌(血清型 1、3、4、5、6A、6B、7F、8、9V、10A、11A、12F、14、15B、18C、19A、19F、22F、23F 及び 33F)による感染症の予防 ●小児:肺炎球菌(血清型 1、3、4、5、6A、6B、7F、8、9V、10A、11A、12F、14、15B、18C、19A、19F、22F、23F 及び 33F)による侵襲性感染症の予防 <用法用量>●高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる 6 歳以上の者:肺炎球菌による感染症の予防:1 回 0.5mL を筋肉内に注射する。●肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる 6 歳未満の者:肺炎球菌による感染症の予防:1 回 0.5mL を皮下又は筋肉内に注射する。●小児:肺炎球菌による侵襲性感染症の予防:・初回免疫:通常、1 回 0.5mL ずつを 3 回、いずれも 27 日間以上の間隔で皮下又は筋肉内に注射する。・追加免疫:通常、3 回目接種から 60 日間以上の間隔において、0.5mL を 1 回皮下又は筋肉内に注射する。	

2)仮採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
キャップボックス筋注シリンジ 21 価肺炎球菌結合型ワクチン 薬価未収載 MSD	<効能効果>高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる成人における肺炎球菌による感染症の予防 <用法用量>1 回 0.5mL を筋肉内に注射する。	

3)剤型・規格 変更/追加 医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
アドナ注(静脈用)100mg	アドナ注(静脈用)50mg	切替 豊岡病院採用薬
フィジオ 140 輸液 500mL	ヴィーン F 輸液 500mL・ヴィーン D 輸液 500mL	追加 豊岡病院採用薬

4)メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

医薬品名	既採用薬	備考
インフリキシマブ BS 点滴静注用 100mg「NK」	レミケード点滴静注用 100	
リュープロレリン酢酸塩 SR 注射用キット 11.25mg「NP」	リュープリン SR 注射用キット 11.25mg	
アウイクリ注 フレックスタッチ 総量 700 単位	アウイクリ注 フレックスタッチ 総量 300 単位	
大塚糖液 5% 500mL	ブドウ糖注 5%PL「フソー」 500mL	
レミフェンタニル静注用 2mg「第一三共」	アルチバ静注用 2mg	
ダルベポエチン アルファ注 120 μ g シリンジ「KKF」	ネスブ注射液 120 μ g プラシリンジ	
ダルベポエチン アルファ注 180 μ g シリンジ「KKF」	ネスブ注射液 180 μ g プラシリンジ	
アスコルビン酸注射液 500mg「トーワ」	ビタミン注射液 500mg	
フルスルチアミン静注 50mg「トーワ」	アリナミン F50 注	
ラコサミド錠 100mg「サワイ」	ビムパット錠 100mg	
炭酸ランタン OD 錠 250mg「フソー」	ホスレノール OD 錠 250mg	
エチゾラム錠 0.5mg「NIG」	デバス錠 0.5mg	
シルニジピン錠 10mg「サワイ」	アデレック錠 10	
トラセミド OD 錠 4mg「TE」	ルブブラック錠 4mg	
ミルナシブラン塩酸塩錠 25mg「アメル」	トレドミン錠 25mg	
コスパノンカプセル 40mg	コスパノン錠 40mg	
ネオドバストン配合錠 L100	メネシット配合錠 100	

5) 院外限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
デベルザ錠 20mg (トホグリフロジン水和物) 選択的 SGLT2 阻害剤 薬価:144.20 円/1 錠 興和	＜効能効果＞2 型糖尿病 ＜用法用量＞通常、成人には 20mg を 1 日 1 回朝食前又は朝食後に経口投与する。	
ツムラ温経湯エキス顆粒(医療用) (バクモンドウ・ハンゲ・トウキ・カンゾウ・ケイヒ・シヤクヤク・セン キュウ・ニンジン・ボタンビ・ゴシュユ・ショウキョウ・アキヨウ) 薬価:37.20 円/g、93 円/2.5g1 包 ツムラ	＜効能効果＞手足がほてり、唇がかわくものの次の諸症 :月経不順、月経困難、こしけ、更年期障害、不眠、神経症、湿疹、足腰の冷え、しもやけ ＜用法用量＞通常、成人 1 日 7.5g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。 なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	
ワイドシリン細粒 20% (アモキシシリン水和物) 合成ペニシリン製剤 11.80 円/200 mg 1g Meiji Seika ファルマ	＜適応菌種＞本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、大腸菌、 プロテウス・ミラビリス、インフルエンザ菌、ヘリコバクター・ピロリ、梅毒トレポネーマ ＜適応症＞表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷 及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性 気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精 巢上体炎(副睾丸炎)、淋菌感染症、梅毒、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合組織炎、涙嚢炎、 麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱、胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバ クター・ピロリ感染症 ＜用法用量＞●ヘリコバクター・ピロリ感染を除く感染症:成人:通常 1 回 250mg(力価)を 1 日 3～4 回 経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。小児:通常 1 日 20～40mg(力価)/kg を 3～4 回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量として最大 90mg(力価)/kg を超えないこと。●胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症:アモキシシリン水和 物、クラリスロマイシン及びランソプラゾール併用の場合:通常、成人には 1 回 750mg(力価)、クラリス ロマイシンとして 1 回 200mg(力価)及びランソプラゾールとして 1 回 30mg の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただ し、1 回 400mg(力価)1 日 2 回を上限とする。アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びラベプラ ゾールナトリウム併用の場合:通常、成人には 1 回 750mg(力価)、クラリスロマイシンとして 1 回 200mg (力価)及びラベプラゾールナトリウムとして 1 回 10mg の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間経口投与す る。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1 回 400mg(力価)1 日 2 回を上限とする。	
エンペシドクリーム 1% 10g (クロトリマゾール) 抗真菌剤 薬価:11.30 円/g、113 円/10g1 本 バイエル薬品	＜効能効果＞下記の皮膚真菌症の治療 ●白癬:足部白癬(汗疱状白癬、趾間白癬)、頑癬、斑状小水疱性白癬 ●カンジダ症:指間糜爛症、 間擦疹、乳児寄生菌性紅斑、皮膚カンジダ症、爪囲炎 ●癬風 ＜用法用量＞1 日 2～3 回患部に塗布する。	

6) 院外限定移行医薬品

医薬品名	備考
トビエース錠 8mg	採用薬からの切替
レベチラセタム錠 250mg「明治」	
エクセグラン錠 100mg	
グリチロン配合錠	
ゾピクロン錠 7.5mg「サワイ」	
シプロキササン錠 200mg	
ビソノテーブ 4mg	

7) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ベンリスタ点滴静注用 400mg (ベリムマブ(遺伝子組換え)) 完全ヒト型抗 BLyS モノクローナル抗体製剤 薬価:54,609 円/400 mg 1 瓶 グラクソ・スミスクライン	＜効能効果＞既存治療で効果不十分な全身性エリテマトーデス ＜用法用量＞通常、成人及び 5 歳以上の小児には 1 回 10mg/kg を初回、2 週後、4 週後に点滴静注 し、以後 4 週間の間隔で投与する。 ※リウマチ科	
バクスマ一点鼻粉末剤 3mg (グルカゴン) 低血糖時救急治療剤 薬価:8,368.60 円/1 キット グローバルレギュラトリパートナーズ	＜効能効果＞低血糖時の救急処置 ＜用法用量＞通常、グルカゴンとして 1 回 3mg を鼻腔内に投与する。 ※他院継続	

8) 患者限定移行医薬品

医薬品名	備考
フォルテオ皮下注キット 600 μ g	採用薬からの切替
トラクリア錠 62.5mg	

9) 削除医薬品

医薬品名	備考
ビーフリード輸液 500mL	パレプラス輸液 500mL に切替
アドナ注(静脈用)50mg	アドナ注(静脈用)100mg へ切替
レミケード点滴静注用 100	インフリキシマブ BS 点滴静注用 100mg「NK」に切替
リユープリン SR 注射用キット 11.25mg	リユープロリン 酢酸塩 SR 注射用キット 11.25mg「NP」に切替
アウイクリ注 フレックスタッチ 総量 300 単位	アウイクリ注 フレックスタッチ 総量 700 単位に切替
ブドウ糖注 5%PL「フソー」 500mL	大塚糖液 5% 500mL に切替
アルチバ静注用 2mg	レミフェンタニル 静注用 2mg「第一三共」に切替
ネスブ注射液 120 μ g プラシリンジ	ダルベボエチン アルファ注 120 μ g シリンジ「KKF」に切替
ネスブ注射液 180 μ g プラシリンジ	ダルベボエチン アルファ注 180 μ g シリンジ「KKF」に切替
ビタミン注射液 500mg	アスコルビン酸注射液 500mg「トーワ」に切替
アリナミン F50 注	製造中止、フルスルチアミン 静注 50mg「トーワ」に切替
アスパラギン酸カリウム注 10mEq キット「テルモ」	使用実績なし
テリボン皮下注用 56.5 μ g	使用実績なし
ビムパット錠 100mg	ラコサミド錠 100mg「サワイ」に切替
ホスレノール OD 錠 250mg	炭酸ランタン OD 錠 250mg「フソー」に切替
デバス錠 0.5mg	エチゾラム錠 0.5mg「NIG」に切替
アテレック錠 10	シルニジピン錠 10mg「サワイ」に切替
ルブラック錠 4mg	トラセミド OD 錠 4mg「TE」に切替
トレドミン錠 25mg	ミルナシブラン塩酸塩錠 25mg「アメル」に切替
コスパン錠 40mg	コスパンカプセル 40mg に切替
メネシット配合錠 100	製造中止、ネオトパストン配合錠 L100 に切替
フェンラーゼ配合カプセル	製造中止
ケイキサレート散	製造中止
ガストローム顆粒 66.7%	製造中止
プロプラノロール塩酸塩徐放カプセル 60mg「サワイ」	製造中止
パントシン錠 100	使用実績なし
アーテン錠(2mg)	使用実績なし
レグバラ錠 25mg	使用実績なし
ナディック錠 30mg	使用実績なし
ブレドネマ注腸 20mg	製造中止
ウルティプロ吸入用カプセル	使用実績なし
エンクラッセ 62.5 μ g エリブタ 30 吸入用	使用実績なし

10) がん化学療法レジメン追加について

なし

11) その他

患者限定解除 : テリボン皮下注 28.2 μ g オートインジェクター、ニトログリセリン 静注 25mg/50mLRFID シリンジ「テルモ」、ケレンディア錠 10mg
 吸入薬院内在庫について : 加圧定量噴霧式吸入薬・ドライパウダー吸入薬は、院内在庫を下記 5 剤に整理し、他は必要時購入に。

サルタノールインヘラー100 μ g (SABA)
 メブチンエアー10 μ g 吸入 100 回 (SABA)
 シムビコートタービューヘイラー60 吸入 (ICS・LABA)
 フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用 (ICS・LABA)
 スピリーバ 2.5 μ g レスビマット 60 吸入 (LAMA)

12) 効能効果等の改訂のお知らせ (2025.12～2026.2)

ケレンディア錠 10mg、同錠 20mg	慢性心不全(ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る)に対する効能等追加
カルボプラチン注射液 50mg・150mg・450mg「N K」	卵巣癌 に対する用法等追加

テセントリク点滴静注 1200mg	切除不能な胸腺癌 に対する効能等追加
デュピクセント皮下注 300mg ペン	気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る) に対する 6 歳以上 12 歳未満の小児の用法等追加
パルモディア XR 錠 0.2mg、0.4mg	高脂血症(家族性を含む) に対する用法等追加
リツキサン点滴静注 100mg、500mg	自己免疫性溶血性貧血 に対する効能等追加 ※「慢性特発性血小板減少性紫斑病」の疾病名称変更による改訂
ジアグノグリーン注射用 25mg	子宮頸癌、子宮体癌におけるセンチネルリンパ節の同定およびリンパ管静脈吻合術に係るリンパ流 の評価 に対する効能等追加

13) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2025.12～2026.2)

アシクロビル、ゾビラックス	【重大な副作用】「急性汎発性発疹性膿疱症」追記
ゾコーバ	リオシグアト(アデムパス錠): 併用禁忌→併用注意に変更
アスピリン、バイアスピリン タケルダ、キャブピリン	【重大な副作用】「アレルギー反応に伴う急性冠症候群」追記
ツイミグ	【重大な副作用】「重度の食欲減退、嘔吐: 食欲減退、嘔吐から脱水状態に至った症例が報告されて いる」追記
コルヒチン	別紙参照

14) 院内副作用報告 (2025.12～2026.2)

【当院処方事例のみ記載】

メトトレキサート	ふらつき、倦怠感、むくみ、尿が出にくい
トラディアンス	薬疹
マグミット	皮膚掻痒感
セレコキシブ	蕁麻疹、掻痒感